

FINE

第354号 2025年 12月号

Freedom/International/Necessity/Experience

年末年始のお知らせ

当協会事務局は、
12月28日(日)～1月5日(月)まで
年末年始のため閉館となります。

新年は1月6日(火)から平常通り
(9:30～17:30)開館いたします。
来年もどうぞよろしくお願いいたします。

会員募集中

お友達、ご家族、同僚の方々などをご紹介下さい！
問合せ・申込は当協会事務局へ

会津若松市国際交流協会では会員を募集しています。
会員の方には、情報紙を毎月お送りします。
☆年会費(4月～翌年3月)
個人1口：2,000円 学生1口：1,000円
※今年度の会費が未納の方は12月19日(金)までにお納め
ください。

ChAT吧(ちゃっとば)Season2

12月のテーマは「クリ
スマス」です！チャレ
ンジしたい方は1分間
スピーチ(クリスマスの
思い出など)を中国
語で準備してご参加く
ださい。

日 時 12月6日(土)
10:00～11:30
場 所 当協会
参加費 無料
申込み 12月5日(金)までに
当協会へ

※中国語学習経験者が対象です。(通訳はつきません)

MEET(ミート)で会いましょう！

気軽に英語で交流
してみませんか？
ゲームをしたり、テー
マを決めてグルーブ
トークをしながら楽し
く“英語で”交流しま
す。どなたでも参加
できます。

日 時 12月20日(土)
10:00～11:30
場 所 会津稽古堂3階
研修室1
参加費 無料
申込み 12月19日(金)までに
当協会へ

チュニジアでの海外協力隊の体験談

JICA福島デスクの木田さんに、協
力隊時代の体験談を聞く会を開催
します。国際協力に興味がある方、
チュニジアでの体験に興味がある
方などぜひご参加ください♪

チュニジアの民族衣装を着た木田さ
さん。持っているのは、伝統的な打楽器
です。(写真右)



日 時 12月13日(土) 13:30～15:00
場 所 当協会 定員 15名 参加費 無料
申込み 12月12日(金)までに当協会へ

アッスレーマ！国際協力推進員、JICA福島デスクの木田麻
貴(きた まき)です。青年海外協力隊の音楽隊員として
チュニジアで活動していました。協力隊体験談はもちろん、
チュニジアの文化や音楽のことも皆さんに知ってもらえたら
嬉しいです。ぜひご参加ください！



クリスマス ムービーナイト！

毎年恒例のクリスマスムービーナイトです。映画を見ながら、
一足早いクリスマスを楽しみましょう。クリスマス映画『クローズ
(Klaus)/2019年』を鑑賞します。サンタクロースの別の誕生物
語を描いた映画です。一人の郵便配達員が、気難しいおもちゃ
職人と友情を育み、小さな村でいがみ合う二つの村に喜びを
届ける物語です。協会シアターでホットドリンクを片
手に少し早いクリスマス気分を味わいませんか？
※映画は日本語字幕付きです。
※クリスマスらしい服装での参加也大歓迎！

日 時 12月23日(火) 18:00～20:00

場 所 当協会

参加費 無料

定員 15名

申込み 12月19日(金)までに当協会へ

※必要に応じて気持ち良く過ごせるグッズ(毛
布、クッションなど)をお持ちください。





事業報告

秋の会員交流会 日帰りバスツアーを開催しました

10月4日（土）、澄みわたる青空と心地よい秋風に包まる中、「会員交流会 山形バスツアー」を開催しました。当日は34名が参加し、そのうち15名は外国出身の会員さんでした。米沢方面は車であれば訪れやすい一方、公共交通機関ではアクセスが難しいことから、「今回のバスツアーで行くことができて嬉しい」と喜ぶ声も寄せられました。幸運にも天候に恵まれ、全行程を快適に巡ることができました。今回のツアーコースは、「川西ダリヤ園 → 上杉神社・米沢城跡（昼食自由） → 南陽市でのぶどう狩り → 高畠ワイナリー」。バスの中では、多言語での自己紹介やミニゲームなどのアイスブレイクを楽しみ、会員同士の会話が自然と弾んで、和やかな雰囲気がすぐに広がりました。自然と味覚、そして交流を満喫する、実り豊かな秋の一日となりました♪

参加者の皆さまからは、「またバスツアーを開催してほしい」「とても楽しい時間だった」などの嬉しいお声をいただき、無事にツアーを終えることができました。ご参加・ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

当協会では、誰もが友達や仲間ができるような場所づくり・イベントづくりを今後も続けてまいります。これからもご協力・応援をどうぞよろしくお願いいたします。



↑バスの中で自己紹介ゲーム



↑川西ダリヤ園



↑上杉神社・米沢城跡 散策



↑ぶどう狩りのようす



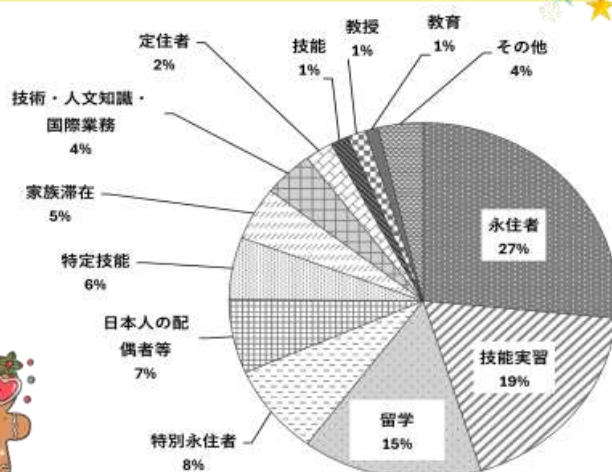
↑高畠ワイナリー前で集合写真

会津若松市 外国人住民数1,118人 2025年3月末日 時点

会津若松市に住む外国人の在留資格別割合→

福島県人口が減少している一方で、県人口に対する外国人住民数の割合が令和5年末から1%を超えています（※1）。会津若松市のデータによると、2025年3月末現在、外国人住民数は1,118人です。外国人住民の方々は、地域の新しい視点や力をもたらしてくれる存在でもあります。一緒に暮らす仲間として、共生の輪を広げていきませんか？

（※1）福島県ホームページ、『福島県の国際化の現状』、<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005e/genjyou.html>



円グラフは会津若松市統計データより作成

エリカ's 海外出張体験記 ラムサール条約 in ジンバブエ

Part 3

Ramsar



当協会のエリカは、7月にジンバブエ共和国ヴィクトリアフォールズで開催された「ラムサール条約第15回締約国会議（COP15）」に会津若松市代表者の通訳として参加しました。前回、会議への参加のようす、今回は世界的に有名なヴィクトリアの滝についてです。会議の詳細い内容については、2025年11月号（先月号）の情報紙をご覧ください。ジンバブエでの出張体験記、最終回です♪

2025年にジンバブエへ旅行するなんて、想像もしていませんでした。いくつかの国を訪れたことはありますが、これほど遠い南部アフリカの国に行ったことはありませんでした。本当に忘れられない経験となりました。新しい環境に触れることができたのはもちろん、さまざまな面で成長することができました。

ジンバブエに到着して驚いたことが2つあります。1つ目は、7月のジンバブエは乾季にあたるため、日中の気温が25度を越えることがほとんどなく、日本の5月のように感じられたことです。日本の夏と比べると、とても過ごしやすかったです。ですが、2日目の夜には「自分が完全に乾燥してしまったみたいだ」と感じて笑ってしまいました。こうした体験も新鮮で面白かったです。2つ目は、あたり一面が驚くほど平らだったことです。ジンバブエの多くは高原地帯のため、全体的にとっても平坦で、丘はあっても、私が知っている山とは異なります。地平線に山が見えないことに少し戸惑いましたが、その代わりに夕焼けが本当に素晴らしく、日が沈むまでに時間がかかるため、空が赤く染ま



↑ジンバブエの夕焼け

しているそうです。COP15の会場から車で約20分ほどの場所にあり、ホテルからもその霧が見えるほどでした。とても印象的な光景でした。移動中、タクシーの窓から水牛やシマウマを見ることができ、まるで小さなサファリに行ったような気分になりました。

滝に到着してからは、全長2kmの道を端から端まで歩きました。滝に近づくほど霧は濃くなり、最後には小雨どころか本降りの雨のようで、歩き終えるころには全身ずぶ濡れでした。どこを見ても虹がかかっていて、本当に美しかったです。滝では景色だけでなく、歴史についても学ぶことができました。滝壺付近の岩場は、かつて地元の人々が儀式に使っていたといわれています。観光地としての歴史は100年以上ありますが、地元の人々にとってはそれ以前から重要な場所だったそうです。美しい景色を楽しみながら、その歴史にも触れることができました。



↑タクシーから見える水牛



↑滝の前でパシャリ

全体を通して、このような機会を得られたことに心から感謝し、とても運が良かったと感じています。短い滞在でしたが、本当に充実した時間でした。ジンバブエという新しい土地に触れただけでなく、国際会議に参加するという貴重な経験もできました。この重要な場で通訳をつとめるのは初めてで、世界や各国の環境保全の取り組みについて学ぶと同時に、福島での環境保全の取り組みについても改めて理解を深めることができました。特に、美しい猪苗代湖を守り、広く知ってもらうために多くの方々が尽力していることを知ることができました。

自分自身のスキルについても学ぶことが多く、新しく難しい挑戦ではありましたが、やり遂げた自分を誇りに思いますし、今後さらに頑張りたいという気持ちが強くなりました。これからもより良い仕事ができるよう、そして会津若松の皆さんのお役に立てるよう、さまざまな話題について日本語で話す力をもっと伸ばしていきたいと思っています。この体験は一生忘れないと思います。



↑エリカ撮影のヴィクトリアの滝

り、とても美しい光景でした。

滞在2日目には、世界最大の滝として知られるヴィクトリアの滝を見に行きました。“Victoria Falls”という名前はスコットランド人の探検家、デイビッド・リビングストンによって付けられましたが、地元ロジ語では“Mosi-oa-Tunya”（モシ・オア・トゥニャ）と呼ばれています。「雷鳴の轟く水煙、立ち上る煙（Thundering Smoke/Smoke that Rises）」という意味で、滝が落ちる際に立ち上る霧を表

12月のイベントカレンダー

1	月	休館日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	10:00 中国語サークルChAT吧 15:00 子ども日本語ひろば
7	日	休館日 10:00 子育てサロンクリスマス会
8	月	休館日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	9:30 ハローワールドクラブ 10:00 出張JICAデスク 13:30 海外協力隊の体験談を聞く会
14	日	休館日
15	月	休館日
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	10:00 英会話サークルMEET 13:30 情報紙発送作業 15:00 子ども日本語ひろば 
21	日	休館日
22	月	休館日
23	火	18:00 クリスマスマービーナイト
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	13:00 事務所大掃除
28	日	休館日
29	月	年末年始休業
30	火	年末年始休業
31	水	年末年始休業

ふくしま子ども多文化フォーラム in 郡山

異文化の中で子育てしている方々に向けて、教育専門の心理師に相談ができます。「やさしい日本語」でアドバイスをいただけるチャンスです。

日時 12月20日(土) 13:00～16:00

会場 郡山市青少年会館 第1研修室 (郡山市大槻町漆棒82番地)

講師 阿部 小梅氏(臨床心理士、公認心理師)

定員 30名

参加費 無料(事前申し込み必要)

〆切 12月10日(水)までにQRコードよりお申込み

問合せ 担当者: 李 Email: koufuku.in.fukushima@gmail.com

Tel: 090-6045-5055

主催 日中文化ふれあいの会～幸福、つばさ～日中ハーフ支援会、
福島多文化団体～心ノ橋、福島移住女性支援ネットワーク・EIWAN



やさしい日本語普及員 初任者セミナー&普及員説明会

「やさしい日本語」の講師による「やさしい日本語」セミナーとそして普及活動に関する説明会が開催されます。やさしい日本語普及員とは、「やさしい日本語」(外国人や子ども、高齢者、障がい者など誰にでもわかりやすいように日本語を簡単に直したもの)を広めるお手伝いをする方々です。※今回のセミナーに参加した人が必ず普及員になるというわけではありません。

日時 12月20日(土) 13:30～15:30

場所 tette(須賀川市市民交流センター)3F ルーム3-1

対象 18歳以上でやさしい日本語に興味がある方、
福島県に在住または在勤されている方、
国籍・団体・個人は問わない。

申込み 12月13日(土)までにQRコードより申込み

問合せ (公財)福島県国際交流協会 鈴木まで

TEL: 024-524-1315



出張JICAデスク

9月にJICA福島デスクに赴任した木田さんに、国際協力や海外協力隊についての相談ができます。同日13:30から、木田さんの協力隊の体験談を聞く会を開催します。相談は、事前にご予約いただくとスムーズです。

日時 12月13日(土) 10:00～17:00

場所 当協会



情報紙発送ボランティア 募集

当協会の情報紙の袋詰めなど簡単な作業です。予約不要。

出入自由です！気軽に交流しませんか？

いつもより1週間早めです！

日時 12月20日(土) 13:30～

場所 当協会



※1月には新年ポットラックパーティを開催予定です。詳しくは来月号をご覧ください。

会津若松市国際交流協会

〒965-0871 会津若松市栄町2-14

リオン・ドールガーデン5階

開館時間: 7月より9:30～17:30

(毎週月曜、日曜、祝日、年末年始 休館)

TEL: 0242-27-3703 メール: aizukokusai@awia.jp

Webサイト: <https://www.awia.jp>

イベントの最新情報をお届けします！



メール申込み用
QRコードも
ご利用下さい